海の花火（1951）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 110分
初公開日 1951/10/25

【解説】
　木下恵介が自ら書いたオリジナル脚本を監督。呼子港を舞台に、漁業組合の立て直しに奔走する組合長と、乗組員たちの姿を描く。
　北九州にある呼子港の漁業組合。組合長の神谷は赤字の原因が二人の船長にあると、唐澤と石黒をクビにする。たまたま組合を訪れた魚住に後任船長を一任し、矢吹と渡という新しい船長を世話してもらった。さっそく二人を乗せた漁船が出航し大漁となるが、市価の下落により組合の赤字は解消されない。クビになった唐澤と石黒による妨害も行われ、神谷は苦境に立たされる。さらに神谷の船が減船政策にひっかかり、上京し事なきを得たものの、神谷は過労と心労のため倒れてしまう。

【クレジット】
監督 木下恵介
製作 小倉武志
脚本 木下恵介
撮影 楠田浩之
音楽 木下忠司
出演 木暮実千代
山田五十鈴
津島恵子
桂木洋子
小林トシ子
三国連太郎
三木隆
笠智衆

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.